

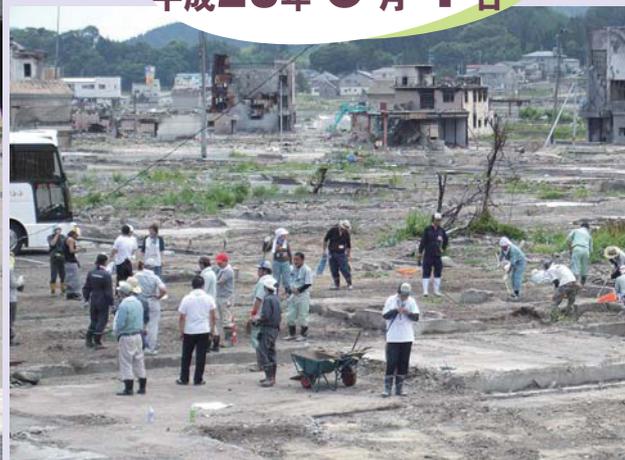
福祉のまちづくり

みなさんの ハート重なり 地域福祉

“お互いさまのまちづくり”

第153号

平成23年 8月 1日



津波と火災で消失した現場



がれきや側溝の泥撤去作業

ボランティアバス 大町JC号 復興支援

東日本大震災の被災地支援のため、大町青年会議所と大町市、市社会福祉協議会が主催をしましたボランティアツアーの参加者36人は、7月18日(月)夕方、2泊3日の日程を終えて岩手県山田町から無事戻りました。

連休に合わせて16日に夜行バスで出発。17日朝から約6時間、山田町役場近くの住宅街だった場所ではがれきの撤去作業にあたりました。

主な内容は

- ・大町JC号復興支援
- ・JC号参加者に聞きました
- ・社協特別会費のお願い
- ・お互いさまのまちづくりを
考える集い 開催報告
- ・あなたにインタビュー
- ・障がい者希望の旅参加者募集

ほか

被災地・山田町でのボランティア活動 大町JC号



共に立ち上がろう東北!!

清水 真弥 (常盤須沼)

被災地を確かめたく、自分の力で何かできることをしたかった。ボラ活動に初めて参加した。

テレビなどで見ていたが、跡形もない光景にあせんとした。溶けたやかん、粉々に割れた茶碗やガラスを見て、被災者の無念は思いが伝わってきた。

こんな状況から、被災された皆さんにどんな言葉をかけてよいか全くわからなかった。とにかく、あきらめずに。希望を失わず、一步一步前に進んでほしい。共に立ち上がろう東北!!



逆に励まされて——

松下 隼人 (大町俵町)

災害報道を見て、何かしたいと思った。が、ボランティア経験がない私は、一人で不安だった。そんな中、このボラバスを聞き参加した。

現地では、一般住宅のがれき撤去作業を行ったが、作業途中で家主さんから差し入れをいただいた。

私たちより辛いはずなのに逆に励まされてしまった。人に「ありがとう」といっていただけの素晴らしさを感じた。被災された皆さんへ決して一人ではないし、一人にならないでください。

☆参加者に聞きました☆



何かできることがないかと——

藤巻 修 (常盤上一)

3月11日の東日本大震災の日から毎日テレビの放映を見ていた。私にも何かできることがないかと日々自問自答していた。そして、今回のボランティア活動に初めて参加することができた。

たった一日のボランティア活動でしたが、多少なりとも被災者の手助けができたかなと思った。

国家の危機を伴う未曾有の大災害である。復興には長い年月がかかりそうですが、強い意志を持って復興を成し遂げられるよう切に祈っている。



末永く応援したい——

腰原 秀敏 (平高瀬分譲地)

昨年までJCに所属していた。今回の企画を後輩たちから聞き、初めての経験でしたがボラ活動に参加を決意した。

岩手県山田町で、津波や火災の被害で消失した一般住宅跡地のがれき撤去作業を主に行った。作業中家主さんが姿を現し、「ご苦労さま」のお礼の言葉をいただいた。温かい言葉に、より一層ボランティア活動をがんばることができた。末永く私たちも応援しますので、ぜひ復興を成し遂げていただきたいと思う。



東小6年生 災害復興チャリティーコンサート
「明るさと元気を伝えようコンサート」

東日本大震災 義援金受付中!!

- 期 日 9月末まで受付
- 受付場所 大町市総合福祉センター、市役所、八坂・美麻支所
現在までの募金額 **2,367万円** (23,673,424円)

ご協力いただいた義援金は、毎月集計し日本赤十字社、中央共同募金会を通じ被災地へ送金しています。

社協特別会費ご協力のお願い

市社協は、地域で助け合える仕組みづくりを目指し、日ごろから声のかけあえる地域づくりを支援しています。

ご協力いただいた会費は、さまざまな地域福祉活動の財源となります。

つまり…会員となることは、地域福祉活動に参加するひとつの方法です。ぜひ、会員として市社協を応援いただきますようお願いします。



**特別会費
お一人
3,000円**

会員になるには？

- ① 7月下旬から、担当民生児童委員の皆さんが、ご家庭にお伺いします。
- ② 本会事務局で、年間を通じて受付しておりますので、ご協力をよろしくお願いします。

会員になると？

- ① 初めて会員になられた方に、「会員章」を交付します。
- ② 「社協報・福祉のまちづくり」に特別会員の方の名簿を掲載いたします。

ご協力いただいた会費は、次の事業財源として活用させていただきます。

平成23年度予算額 225万円 (2,250,000円)

ボランティアセンター運営事業

ボランティア団体の活動支援や
相談受付・福祉教育 511,000円



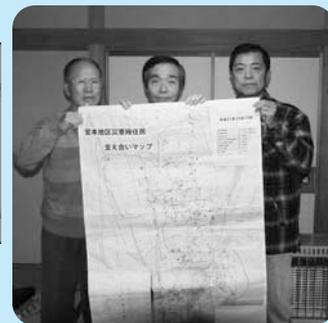
中学生への福祉教育 ～高齢者疑似体験～

ふれあい福祉センター運営事業

小地域福祉ネットワークや地区社協活動を
始めとする地域福祉事業 284,000円



災害時住民支え合い
マップ作成推進



日常生活自立支援事業

判断能力の十分でない方への福祉サービス
利用援助や金銭管理 154,000円

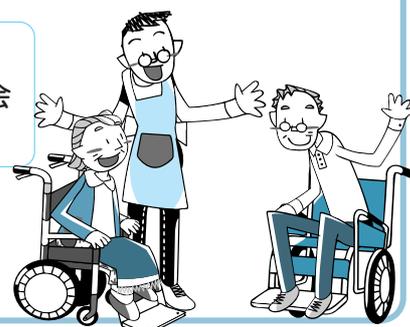


利用者への実際の支援を行っていただく方の養成講座
～生活支援員養成講座～

法人運営事業

社協が法人として安定運営していくための
財源として 1,301,000円

■ 問い合わせ先
市社会福祉協議会
TEL 22-1501



お互いさまの まちづくり を考える集い

市社会福祉協議会では、7月16日(土)「お互いさまのまちづくりを考える集い」～見直そう! ご近所づきあい!～をサンアルプス大町で開きました。東日本大震災を機に、被災地の実情などを共有し、万が一に備え支え合う地域づくりのために近隣の付き合いの大切さをあらためて考える機会となりました。

先進地事例発表：

災害時住民支え合いマップ 須坂市での取り組み

発表者 須坂市社会福祉協議会
助け合い起こし推進係長 小松 正典氏

平成18年度より、3地区をモデル地区とし支え合いマップの取り組みを開始しました。

自治会・民生委員・行政・市社協の4者で本事業にかかる委託契約を結び、行政より要援護者情報の提供を受け、自治会と民生委員で要援護者情報とそれを助ける支援する人を落とし込んだマップを作成しました。

現在では、全自治会(69地区)でマップ作成が終了しており、毎年更新を行っています。

《須坂市が自治会に提供している 要援護者情報》

- ・要介護 3、4、5 認定者
- ・身障手帳 1、2 級所持者
- ・療育手帳 A1、2 B1 所持者
- ・一人暮らし高齢者



講演：災害時に必要な支え合いとは

講師 NPO法人いのちのポータルサイト
中橋 徹也氏

講演では、大町市は30年以内に15%の確率で地震が起こるとの話がある中で、災害に備えるには、“地域力”(日常の住民支え合い)が重要であるとの講演でした。

いくつか参加者へ質問を投げかけた中で“災害発生したとき、自分が被災者(自力で避難できなくなってしまった)場合、家族以外で自分を助けてくれる人はいますか?”という問いかけがありました。皆さんはいかがでしょうか? この問いに全員が自信をもって手を挙げられる。そんな地域であれば災害時においても安全・安心な地域となると感じました。



被災地に届け!! みんなの願い。

当日参加された方から被災地に願いを込めての短冊を寄せていただきました。

(8/7まで総合福祉センターに飾っています。)



お互いさまのまちづくりを考える集い 参加者に聞きました



地域で支え合う 大切さを感じた

常盤須沼 松下さん

地域のつながりはあると思っていますが、いざ、「家族以外で助けてくれる人がいますか」と聞かれると自信がないのが現実です。

個人的に災害に備えることは当然ですが、地域で支え合う仕組みづくりの大切さを感じました。

しかし、最近では自治会や隣近所の付き合いを煩わしいと感じる人が増えてきている。この問題をどうしていくかが、最大の課題ではないかと感じている。



支え合いマップは 本当に大切

大町旭町 山崎さん

昔はお金に関係なく労力（ええ返し）で返した地域関係でしたが、今はないですね。支え合いマップは本当に大切と感じました。ただ、先に立つ人の難しさを感じます。

災害時、避難後の助け合い・支え合いが大切だと思います。

今日のような集会へ若い世代の方にも参加してほしいですね。隣近所は、家の間取りも把握しており、何かあったときの助け合いは可能。その大切さをあらためて感じる事ができました。

ご近所づきあいは大切!!



「助けて」と言える 地域づくりも大切

社館ノ内 武井さん

発表した須坂市からの問いかけで、「助けを求められれば助けてやる」という人は多いが、自分が困ったときに助けを求めるといふ人は少ない。結果、助け合いが生まれないと話があり、自分でも他人に容易に助けを求めることができないと気付いた。

助け合いは、助ける方も大事だが、「助けて」と言える環境づくりや意識づくりも大切だと感じた。

館ノ内では、マップづくり取り組み中だが、このマップが助けてと言えぬ地域づくりの一步になればと思った。



須坂市では 全地区で マップが…

大町十日町 左から平林さん、傘木さん、仁科さん、降旗さん

十日町といっても広く、私の組では一人暮らしのお宅が1軒あり、困ったときは合図で確認できるような決めごとがあります。

今日の話聞いて、支え合いマップの必要性を強く感じた。隣組単位なら作りやすいと思う。

課題は先立つ人がいるかどうか。須坂市では全自治会でマップができていたことにただ驚いた。今日の話は多くの人に聞いて欲しかった。

総合福祉センター利用案内

どんどん使ってください!

皆さんのための会議室です!!



大会議室

収容人数約60人
利用料 500円/時間
冷暖房料300円/時間

ボランティア・福祉団体室

収容人数約15人
利用料 200円/時間
冷暖房料200円/時間

小会議室①・②

収容人数約15人
利用料 200円/時間
冷暖房料200円/時間

エレベーター

総合福祉センター
2階

【利用時間】 午前9時～午後9時

(センターは8時30分より開館しています。)

【会議室定休日】 年末年始(12/29～1/3)

【利用予約】 利用予定日2カ月前より受付

Q 会議室だけど、会議にしか使えないの?

A 会議以外でもお使いいただくことができます。ご利用の際、お問い合わせください。

Q 誰でも利用できるの?

A どなたでもご利用できますが、公の施設として風紀・秩序を乱すような利用はご遠慮いただいております。

Q 利用するには、どうしたらいいの?

A 利用2カ月前からご予約を受け付けています。利用申込書の提出をお願いしていますので、詳しいことはお問い合わせください。

【ご利用・お問い合わせ】 大田市社会福祉協議会 TEL 2 2 - 1 5 0 1

利用者の声

利用しやすい施設運営のため、各階にそれぞれ“利用者の声”(意見箱)を設置しています。



1階事務所

Q 1階事務所の職員態度が悪い。

あいさつもしないことがある。

A 職員の態度が、不適切なことがあり、

誠に申し訳ありません。また、貴重なご指摘ありがとうございます。あらためて、職員への接遇改善を図るとともに、利用しやすい施設に向け精進してまいります。

Q 節約のため、電灯を半分にしては。

A 安全面も考慮し館内照明を調整しています。ご不便をお掛けしていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

Q 1階ロビーの“すまいる”を毎日営業してほしい。

A 営業日数の増加について、ニーズに応えられるよう事業所内でも検討を進めてまいります。

今回ご紹介できなかった“利用者の声”は、センター2階に掲示させていただきます。

あなたの声は「宝物」としてご意見を伺っております。



1階ホール「喫茶すまいる」

事前予約にご協力ください。 ☎22-1501 (大町市)

大北地域心配ごと相談日程 8月・9月

	開催日	時間	相談内容	担当者	場所	開催者・連絡先	
8月	8月1日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501	
	8月8日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	8月22日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
	〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士			
	8月29日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員			
9月	8月25日(木)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	八坂支所	八坂地域福祉センター ☎26-2100	
	8月9日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	池田町 やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544	
	8月23日(火)						
	8月3日(水)	13:00~15:00	生活相談 子育て相談	民生委員・児童委員	松川村 ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000	
	8月9日(火)	13:00~16:00	人権・ 心配ごと相談	人権擁護委員	白馬村保健福祉 ふれあいセンター	白馬村社協 ☎72-5000	
	9月	9月5日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	大町市総合福祉センター	大町市社協 ☎22-1501
		〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
		9月12日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		9月26日(月)	13:00~16:00	心配ごと相談	心配ごと相談員		
		〃	13:00~15:00	司法書士相談	司法書士		
9月26日(月)	13:00~15:00	心配ごと相談	心配ごと相談員	美麻総合福祉センター	美麻地域福祉センター ☎29-2341		
9月13日(火)	13:30~15:30	なんでも相談	心配ごと相談員	池田町 やすらぎの郷	池田町社協 ☎62-9544		
9月27日(火)							
9月7日(水)	13:00~15:00	生活相談 人権擁護	民生委員・ 人権擁護委員	松川村 ゆうあい館	松川村社協 ☎62-9000		
9月7日(水)	13:00~16:00	心配ごと相談	司法書士民生委員	小谷村 開発センター	小谷村社協 ☎82-2430		

◎お気軽にご相談ください。
このほか、【常設相談】土日祝日を除き毎日受け付けています。 ☎22-1501

★電話相談 どんな悩みごともお気軽にどうぞ。

★日常生活自立支援 障がい者・高齢者の方で、ご自分で判断することが難しく、日常生活や財産管理についてお困りの方。

★ボランティアセンター(社協内) ボランティアについての相談。

障害福祉サービス事業所

ひまわりの家自主製品コーナー

天ぷら油などの廃油にEM菌を混ぜ、苛性ソーダを加えて作る「EM石鹸」。台所、洗濯、トイレや運動靴の洗浄に使えます。《左から》▷粉石鹸210円 ▷固形石鹸105円▷ぷりん石鹸105円》



天ぷら油の再利用「EM石鹸」

お買い求めはひまわりの家まで TEL22-4956

大町市社会福祉協議会ホームページ開設!!

市民への情報提供手段として、大町市社協ホームページを開設しました。まだまだ、準備中のコンテンツがございますが、随時充実していきますので、皆さんご利用ください。



URL <http://www.omachishakyo.org/>

●お問い合わせ

大町市社会福祉協議会 総務企画課 TEL22-1501

ふれあいの窓

H23.5.1~7.15(敬称略)

善意の寄附をありがとうございます

【物品】▷ポータブルトイレ、シルバーカー 中山正江様
▷文房具一式 丸山浅夫様 ▷カラオケ用追加

曲カードリッジ 匿名 ▷タオル多数 大町商工会
議所女性会様、神楽町女性部

【使用済みはがき・テレカ・切手等】

▷丸山 裕子様 ▷六九町福祉部様

参加者募集!! 希望の旅

締切日
8月29日

今年の希望の旅は河口湖方面。人形館とオルゴール館が楽しみだ! みんな待ってるよ!!

- 日時 9月9日(金) 7時~18時30分(予定)
- 行先 山梨県「与勇輝館」(人形展示)
「河口湖オルゴールの森」
- 対象者 市内にお住まいで障害手帳のある方
- 参加費 おひとり 2,000円
- 申込 8月29日(月)までに下記へ。
- 問い合わせ 市社会福祉協議会 TEL22-1501
八坂地域福祉センター TEL26-2100
美麻地域福祉センター TEL29-2341



昨年は、軽井沢へ

開催日
10月8日

2011 市民ふれあい広場!!

- 日時 10月8日(土) 9時~14時30分
- 会場 大町市文化会館前広場
サンアルプス大町、フレンドプラザ大町

今年度は、47団体から参加申込がありました。過日第1回実行委員会を開き、取り組みが始まりました。

今回は、東日本大震災復興支援イベントと位置付け、当日は被災地支援のためになるよう企画を検討中です。



第一回実行委員会の様子

広がれ! 広がる! ネットワークの輪

三日町 さんさん会 窪田英雄



平成16年に発足して8年目を迎えました。当町には103世帯376人いますが、70歳以上は95人。一世帯に1人の高齢者となっております。

町内は、兼業農家が多く田畑の耕作、無農薬野菜や庭先で好きな花を育てたりしています。また、戸外での作業や、散歩など常に身体を動かし、恵まれた自然環境の中で悠々自適な生活を過ごしています。皆さん健康に留意され、病気にならないよう心がけているように見受けられます。

さんさん会では、懇親の場を設けたり、健康にかかわる講話・相談の場を設けたり、見聞・見識を高める交流を行い、豊かで生き生きとした人生を過ごせるよう取り組んでいます。

「福祉のまちづくり」へのご意見、ご希望、投稿などみなさんの声をお寄せください。

〒398-0002 大町市大町1129 大町市総合福祉センター内

編集・発行; 社会福祉法人 大町市社会福祉協議会 地域福祉係 TEL22-1501 FAX22-7071

URL <http://www.omachishakyo.org/> E-mail somu@omachishakyo.or.jp